

会 議 録

会議名	平成29年度 第8回 小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	平成29年11月29日(水)19時00分～20時15分	
開催場所	市役所第二庁舎 801 会議室	
出席者	委員	伏見委員長、百瀬副委員長、大澤委員、鈴木委員、中山委員、外山委員、安達委員、大村委員、田上委員、井出委員、野口委員
	事務局	山田学童保育係長
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 学童保育の保育内容について (2) その他 3 閉会	
配布資料	・ 冬季休暇中の宅配弁当の取扱いに関する取決めについて (案) ・ みどり学童保育所大規模化対策に関する要望書 (回答) ・ 平成29年度 小金井市学童保育所利用者アンケート ・ 平成30年度学童保育所入所見込数	
議事	1 開会 2 議題 (1) 学童保育の保育内容について ① さわらび学童・みなみ学童の委託について (市) 委託事業者については、さわらび学童保育所は(社)雲柱社、みなみ学童保育所は(社)わらしこの会に決定した。 (学) 契約は締結したか。 (市) 契約は締結し、これから引き継ぎに向けて動き出す。 (学) 指導員の継続雇用についてはどうなっているか。 (市) 委託事業者による非常勤・臨時職員への説明は終了している。後は事業者と職員との事案となるので市が関与する問題ではない。 (学) 説明会に参加した職員はだいたい何名ぐらいか。 (市) 25名前後。 (学) 継続雇用は保証されるのか。 (市) 市で雇用する非常勤も公募試験を行うため、保証はできない。 (学) 委託所で雇用する職員の常勤・非常勤は業者が決めることか。 (市) そのような理解をしている。 (学) 市で雇用される職員の状況は。 (市) 非常勤は試験に合格することが必要、臨時職員は雇用条件が満たせ	

るなら継続雇用される可能性を説明した。年明け迄に雇用の大枠が決まる予定だが正式な通知はまだ先になる。

(学) 現状と委託先では雇用条件に差があり、人材が残ってもらえないのではないかという懸念が保護者からあがっている。市から法人に対して何か要望や働きかけをすることがあるのか。

(市) 市側から働きかけをすることはむしろかしい。

(学) 了解した。

### ②宅配弁当について

(学)「冬季休暇中の宅配弁当に関する取決め(案)」を提出させていただいた。これまで議論のあったご飯なしメニューは実施しない。今年の夏季休暇と同様に運用したい。アンケートに関しては年一回で良いとのことなので今回は削除している。

(市) 承知した。この案を決定とし、指導員側に説明する。

(学)あかね学童の父母で10月に武蔵野給食センターに訪問させていただいた。夏休み後に実施されたアンケートを持参したが、武蔵野給食センターからは、「子どもの意見が直接聞けて嬉しい。子供向けメニューについては前向きに検討したい」とのことだった。引き続きお願いする予定である。

(市) 了解した。

### ③大規模化について

(市)前回の協議会で提出されたみどり学童の大規模化に関する要望書に対して、回答書を作成した。回答書に記載の通り、公共施設の併用利用、民間施設の活用などで対応していきたい。放課後子ども教室に関しては充実させていきたい。他の要望についても進展があったところは報告していく。

(学) 回答を貰ったので持ち帰り報告する。みどりに限らず大規模化の対応についてはお願いしたい。また、民設民営の学童保育所や、4～6年生の保育について何か話し等は出ているか。

(市)民設民営についてはまだ具体的ではないが考えていかなければならないと考えている。ただし、整備すべき点も多い。

(学) 放課後子ども教室の充実についてはどうか。学童の受け皿としては考えにくいのではないか。

(市) 予算がどこまで出ているかは不明だが「のびゆくこどもプラン」を踏まえて対応していく。まずは、指導員、コーディネーター、学校の三者

で構成される協議会の設置を目指しており、そこで意見を出してもらう方向で進めている。また、根本から変えるのではなく、現在行われている放課後子ども教室をさらに充実させるという考え方だ。

(学) 駅南口にマンションを建設中だが、民間の保育所が入る予定はあるか。

(市) まだ、何も伺っていない。

(学) みどり・あかねの大規模化対策について、具体的な進捗を教えてください。

(市) 今はないが、進捗があり次第お伝えする。

#### ④利用者アンケートについて

(市) 個別の意見はまだ掲載できていないが取り急ぎ数字を載せている。

(学) 設問 11 の、夜 7 時までの保育について延長利用者は増えているのか。

(市) 平成 27 年度からスタートした延長保育も毎年 50 人程度ずつ利用者が増えている。平成 29 年度に一度でも利用した人の累計は 230 人程度。20%ぐらいになる。アンケートの集計結果は市ホームページに掲載する。個別の意見については掲載しない。

(学) 個別の意見は協議会で共有していただけるか。

(市) 共有は可能だが、取扱いには注意願いたい。

(学) 代表者会議でも共有したいので、次回協議会で資料をいただきたい。

(市) 了解した。アンケートで出された意見に関しては、基本的に改善できるものは改善する方向で考えている。

#### ⑤来年度入所者の見込数について

(市) まだ募集が始まっていないので正確な数字ではないが、小金井市の全ての保育園の児童数を参考にしている。

(学) 越境分は考慮しているか。

(市) 越境分は考慮していない。応募は市ホームページ、児童青少年課、各学童保育所で行い、市内の保育園にはアンケートの結果を基に申込用紙を直接配布した。

(学) 資料にある未定の人数とは何か。

(市) どの小学校に通学するか決まっていない人数である。越境または障がいのある者であるケースが多い。

(学) 見込数に障がい児が多いようだが。

(市) まだアンケートの段階なので正確な数字ではない。例年、親が考慮

	<p>して障がい児としているが入所時には障がい児として扱わないケースもあり、例年とほぼ同じような人数になると予想される。</p> <p>(学) データの共有は学童で行ってよいか。</p> <p>(市) 特に問題はない。</p> <p>次回の日程 12月19日、21日を予定。</p>
	<p>3 閉会</p>